



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月4日

上場会社名 株式会社エーアイティー

上場取引所 東

コード番号 9381

URL <http://www.ait-jp.com/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部副本部長 (氏名)伊部 己代二 (TEL)06-6260-3450

兼経理財務部長

四半期報告書提出予定日 平成23年10月17日 配当支払開始予定日 平成23年10月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	7,075	6.0	489	△2.0	515	△2.1	299	△4.3
23年2月期第2四半期	6,675	45.2	499	43.8	526	42.2	313	50.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	62 75	- -
23年2月期第2四半期	66 04	65 66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	3,550	2,424	68.0	505 49
23年2月期	3,276	2,239	68.1	466 76

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 2,415百万円 23年2月期 2,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	18 50	—	24 00	42 50
24年2月期	—	26 00			
24年2月期(予想)			—	26 00	52 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有

3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,065	10.5	1,145	16.4	1,177	15.2	720	24.1	150 81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（ — ）、除外 — 社（ — ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	4,938,600株	23年2月期	4,938,600株
24年2月期2Q	160,192株	23年2月期	160,141株
24年2月期2Q	4,778,419株	23年2月期2Q	4,745,591株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな景気回復の兆しがみられたものの、3月に発生した東日本大震災の影響により、大きな打撃を受けました。その後、サプライチェーンの立て直しや生産活動の復旧が進み、景気の持ち直しの動きが徐々に見られるものの、電力供給の制約、円高の進行、欧米景気の減速など先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、震災で混乱した貨物の流通に対応しつつ、前期に引き続き積極的に営業活動を展開することで取扱貨物量の増加と新規顧客の獲得に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は7,075百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益489百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益515百万円（前年同期比2.1%減）、四半期純利益299百万円（前年同期比4.3%減）となりました。営業収益につきましては、急激な円高による販売価格の低下を貨物量の増加でカバーし前年同期を上回りましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、主に粗利率が0.5ポイント低下したことにより前年同期を若干下回る結果となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

①日本

東日本大震災以降、一時的に消費財を中心とした貨物に混乱を招きましたが、社会全体の復興ムードの中、日用雑貨用品・防災用品を中心に復調し、また一貫輸送の営業力を強化としたことが奏功し、主に海上輸入貨物、輸入通関を順調に取込むことができました。その結果、輸送形態別での取扱貨物量は、海上輸送における取扱コンテナ本数では、輸出入合計73,184TEU（前年同期比11.9%増）、航空貨物輸送では1,365ト（前年同期比9.1%減）、通関受注では17,561件（前年同期比12.9%増）と堅調に推移いたしました。

一方、利益面におきましては、同業他社との価格競争等により利益率を引き下げることとなりました。

以上の結果、日本における営業収益は6,061百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は416百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

②中国

日本向け貨物が好調に推移した結果、営業収益は994百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益は44百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

③タイ

日本向け貨物は前年同期に比較して下回り、営業収益は19百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は0百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し3,550百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が208百万円、差入保証金が29百万円増加した一方で、現金及び預金が56百万円減少したことによるものであります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し1,125百万円となりました。これは主に、買掛金が118百万円、賞与引当金が27百万円増加した一方で、未払法人税等が22百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ185百万円増加し2,424百万円となりました。これは主に、四半期純利益299百万円を計上した一方で、剰余金の配当により114百万円が減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ158百万円減少し、1,253百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は105百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を513百万円計上したことのほか、仕入債務の増加118百万円等の資金の増加要因に対し、法人税等の支払額236百万円、売上債権の増加208百万円等の資金の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は149百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出448百万円、差入保証金の差入による支出36百万円の資金の減少要因に対し、定期預金の払戻しによる収入347百万円の資金の増加要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は114百万円となりました。これは主に、配当金の支払額114百万円による資金の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想の修正につきまして、本日(平成23年10月4日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、通期の連結営業収益につきまして、修正しております。

これは、主に急激な円高に伴う為替相場要因によるものであり、下半期もこのような状況が継続するものと見込んでいる為であります。なお、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益につきましては、前回発表予想どおりしております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,903,560	1,960,424
受取手形及び売掛金	929,382	720,937
有価証券	200,000	200,685
その他	241,700	163,207
貸倒引当金	△6,618	△4,592
流動資産合計	3,268,024	3,040,662
固定資産		
有形固定資産	32,818	21,524
無形固定資産	41,448	38,978
投資その他の資産		
投資有価証券	3,440	2,643
差入保証金	164,399	134,967
その他	40,871	38,575
貸倒引当金	△493	△549
投資その他の資産合計	208,216	175,636
固定資産合計	282,484	236,140
資産合計	3,550,509	3,276,802
負債の部		
流動負債		
買掛金	550,358	431,375
未払法人税等	217,566	240,271
賞与引当金	57,989	30,980
役員賞与引当金	12,000	22,720
本社移転費用引当金	—	8,200
預り金	93,893	111,618
その他	77,997	92,072
流動負債合計	1,009,805	937,238
固定負債		
退職給付引当金	86,152	78,495
その他	29,967	21,660
固定負債合計	116,120	100,155
負債合計	1,125,926	1,037,394

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	2,057,692	1,872,531
自己株式	△67,928	△67,875
株主資本合計	2,482,494	2,297,386
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	252	500
繰延ヘッジ損益	△2,235	—
為替換算調整勘定	△65,083	△67,516
評価・換算差額等合計	△67,067	△67,015
少数株主持分	9,155	9,037
純資産合計	2,424,583	2,239,408
負債純資産合計	3,550,509	3,276,802

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
営業収益		
輸送事業収入	6,431,869	6,970,456
その他事業収入	243,231	104,669
営業収益合計	6,675,101	7,075,125
営業原価		
輸送事業仕入	4,978,739	5,431,161
その他事業仕入	229,054	122,390
営業原価合計	5,207,793	5,553,551
売上総利益	1,467,307	1,521,573
販売費及び一般管理費	967,604	1,031,991
営業利益	499,703	489,582
営業外収益		
受取利息	4,496	2,917
為替差益	19,975	19,112
その他	2,760	4,875
営業外収益合計	27,231	26,906
営業外費用		
支払利息	292	277
株式交付費	30	—
事務所退去費用	76	557
その他	401	385
営業外費用合計	800	1,220
経常利益	526,134	515,268
特別利益		
固定資産売却益	727	—
賞与引当金戻入額	1,644	—
特別利益合計	2,371	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,308
特別損失合計	—	1,308
税金等調整前四半期純利益	528,506	513,960
法人税、住民税及び事業税	214,640	218,498
法人税等調整額	△534	△4,742
法人税等合計	214,106	213,755
少数株主損益調整前四半期純利益	—	300,204
少数株主利益	992	360
四半期純利益	313,407	299,844

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	528,506	513,960
減価償却費	10,231	11,388
長期前払費用償却額	184	375
株式交付費	30	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,442	1,969
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,381	27,008
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,500	△10,720
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,397	7,657
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	—	△8,200
受取利息	△4,496	△2,917
支払利息	292	277
為替差損益(△は益)	1,915	2,190
有形固定資産売却損益(△は益)	△727	—
有形固定資産除却損	—	1,308
預り金の増減額(△は減少)	△14,365	△18,725
売上債権の増減額(△は増加)	△221,589	△208,388
仕入債務の増減額(△は減少)	116,010	118,983
その他	△57,429	△97,774
小計	361,283	338,393
利息の受取額	3,720	4,207
利息の支払額	△292	△277
法人税等の支払額	△247,580	△236,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,131	105,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△550,800	△448,789
定期預金の払戻による収入	260,000	347,050
有価証券の取得による支出	—	△200,000
有価証券の償還による収入	200,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△3,327	△10,358
有形固定資産の売却による収入	1,385	—
無形固定資産の取得による支出	△7,875	△7,550
投資有価証券の取得による支出	△599	△1,215
差入保証金の差入による支出	△5,256	△36,686
差入保証金の回収による収入	5,129	6,749
その他	—	1,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,343	△149,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,000,000
自己株式の取得による支出	△10	△52
配当金の支払額	△82,717	△114,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,728	△114,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,732	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,672	△158,604
現金及び現金同等物の期首残高	1,340,368	1,412,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,695	1,253,997

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

当社及び連結子会社の事業は、国際貨物輸送事業ならびにこれらの附帯業務及びその他事業であります。しかしながら、全セグメントの営業収益の合計及び営業利益の金額の合計額に占める国際貨物輸送事業ならびにこれらの附帯業務の割合が90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	東南アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	5,830,872	823,521	20,707	6,675,101	—	6,675,101
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	12,275	575,006	10,624	597,906	(597,906)	—
計	5,843,147	1,398,528	31,332	7,273,007	(597,906)	6,675,101
営業利益	435,047	54,706	2,167	491,921	7,781	499,703

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 上記区分のうち、東南アジアに属する国又は地域の内訳は、タイであります。

【海外営業収益】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	中国・香港	東南アジア	計
I 海外営業収益(千円)	823,521	20,707	844,228
II 連結営業収益(千円)	—	—	6,675,101
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	12.3	0.3	12.6

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 上記区分のうち、東南アジアに属する国又は地域の内訳は、タイであります。
3. 海外営業収益は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における営業収益であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社及び連結子会社の報告セグメントは、当社及び連結子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び連結子会社の事業は、国際貨物輸送事業ならびにこれらの附帯業務及びその他事業であり、各地域において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社及び連結子会社は販売・受注・物流体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており「日本」「中国」「タイ」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日) (単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	6,061,019	994,980	19,125	7,075,125	—	7,075,125
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	12,962	557,154	7,155	577,272	△577,272	—
計	6,073,981	1,552,135	26,281	7,652,398	△577,272	7,075,125
セグメント利益	416,384	44,470	819	461,674	27,908	489,582

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。